

研究課題名	ECMO for catastrophic pulmonary embolism and additional therapies: The ECMO-CATAPULTE multicenter international retrospective study. 和名：致命的肺塞栓患者のECMO管理と治療内容に関する検討
研究期間	実施許可日 ~ 2026年7月30日
研究の対象	2014年6月から2024年7月の間に、広島大学病院にてECMO管理による治療を受けられた肺塞栓症と診断された患者さん
研究の目的・方法	研究目的：ECMO管理を要した肺塞栓の患者さんの治療内容を中心とした実態を明らかにすることです 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、ECMO管理中の治療内容な管理内容について生命予後と関連がある因子を探索します。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、転帰（30日及び90日死亡の有無、ICU退院時死亡の有無）、ICU入退室日、肺塞栓発症日、気管挿管日、身長、体重、血液ガス検査結果、血液検査結果、人工呼吸器の設定、ECMOの設定、入院後の治療内容、撮影した胸部CTの読影レポート、ECMO管理中の治療内容、ECMO管理中のVitalサイン、ECMO管理中の合併症の有無です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は代表機関に提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
外部への試料・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> この研究で得られた診療情報は、フランスに所在する Pitié-Salpêtrière Hospital に提供します。 Pitié-Salpêtrière Hospital（提供先）への情報提供は、パスワード設定したエクセルデータをメールによって送信することで行います。 収集した情報は特定の関係者のみアクセス可能なパスワード設定された Pitié-Salpêtrière Hospital のICU内のパソコンに保存されます。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療講座 准教授 大下 慎一郎

	<p>研究機関の長 広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表者 Piti é Salp é tri è re Hospital Dr David LEVY</p>
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療講座 担当者：錦見 満暁 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5456</p>